

学報

2019年1月 Vol.737



平成30年度第9回学長記者会見を実施

The 6th International Workshop of UGSAS-GU “Crop Production and Productivity under Global Climate Change” を開催	0 1
ウィンタースクール開始	0 3
第16回産学ツーリズムを開催	0 4
「エコ活動啓発ポスター」の表彰式を実施	0 5
岐阜大学図書館 留学生対象に英語による『英語論文の探し方』講習会	0 7
ISO 14001:2015 版の認証登録を更新	0 8
避難所運営ゲーム (HUG) を開催	0 9
「大学における内部質保証力を高める研修会」の開催	1 0
平成30年度第9回学長記者会見を実施	1 1
岐阜大学主催公開講座「先端を行く連合創薬医療情報研究科 ー難病へのアプローチ最前線ー」を開催	1 3
地域科学部国際教養コース学生が学長を訪問	1 5
学位授与	1 6
表彰受賞者	1 7
外国人研究者の受入	1 8
産官学連携の実施状況	1 9
メディア掲載一覧	2 1
諸会議	2 6
主要日誌	2 8
人事異動 (学内限定)	3 0

The 6th International Workshop of UGSAS-GU -Crop Production and Productivity under Global Climate Change- を開催

大学院連合農学研究科では、平成 30 年 12 月 3 日（月）～4 日（火）の 2 日間、IC-GU12* 加盟大学であるランポン大学（インドネシア）にて、「Crop Production and Productivity under Global Climate Change」と題して The 6th International Workshop of UGSAS-GU を開催した。本企画は、大学のグローバル化と現地産業界との交流の推進を目的として平成 26 年度から実施している。

初日の 3 日（月）は、全 4 セッションに渡りメインテーマに関連した研究発表が行われた。第 1 セッションでは、本会の実施責任者であるブストミ教授より開催の背景と経緯についての紹介、ハスリアディ学長、イルワン農学部長からの式辞、千家正照研究科長から開催にあたっての謝辞と開会宣言があった。第 2 及び第 4 セッションでは、Great Giant Foods (GGF) 社のルーキト副部長をはじめ、本研究科の嶋津光鑑准教授、田中貴助教、乃田啓吾助教、ランポン大学のデュイ博士、アグスティニ氏による基調講演が行われた。第 3 セッションでは、3 つの平行セッションが設けられ、本研究科のツシ氏を含む 24 名の発表があり、濃密な質疑応答が行われた。閉会にあたって、平松研研究科長補佐（国際担当）が本ワークショップを総括し、総勢 200 名の参加者にて成功のうちに終了した。その後、ランポン市庁舎にて交流会が催され、ランポン市長らと今後の連携方策について意見交換がなされた。



主催者及び後援者等主要参加者との撮影



ハスリアディ学長の式辞

2 日目の 4 日（火）は、ランポン市中心部より車で 2 時間ほど離れた GGF 社に赴き、ルーキト副部長の案内で、GGF の広大なフィールドを視察し、パイナップル加工場やバナナのパッキングハウス、残渣利用によるバイオガス発電施設を備えた大規模プランテーション会社の現状について説明を受け、問題解決に向けた産学連携の可能性について議論を深めた。



GGF 社の視察

*IC-GU12: 岐阜大学の呼びかけで形成された「南部アジア地域における農学系博士教育連携コンソーシアム」の略称。

ウィンタースクール開始

グローバル推進本部では、12月4日（火）～21日（金）、ウィンタースクールを開催する。本学と2019年4月からジョイント・ディグリープログラム（連携する大学間で開設された共同プログラムを修了した際に、複数の大学が共同で単一の学位を授与するもの）を開始する予定であるインド工科大学グワハティ校（IITG）とマレーシア国民大学（UKM）から計8名の学生を受け入れている。

本プログラムでは、両校ともに高倍率の中から選ばれた学生たちが、工学部、応用生物科学部の研究室で指導教員や日本人学生チューターらとともに研究活動を行う。また、今年度は企業体験として「三菱ケミカル横浜研究所」「山崎製パン中央研究所」「日清製粉千葉工場」への見学を予定している。他にも、本学日本語・日本文化教育センターが提供する日本語授業の受講や、十二単等を着装する日本文化を体験する。

本プログラムを通して、岐阜大学における学生生活を体験することで参加学生、本学学生や教職員にとっても、今後推進すべき国際協働教育のより良い理解と促進につながることを期待している。

*本学は今年の6月に「岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻（修士課程及び博士課程）」、11月に「岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携統合機械工学専攻（博士課程）」及び「岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻（博士課程）」の計4専攻について、文部科学省からの設置認可通知を受けた。



集合写真



森脇学長（写真奥）訪問の様子



山本保健管理センター長（写真左奥）がセミナーを行う様子

第16回産学ツーリズムを開催

12月4日（火）に第16回産学ツーリズムを実施した。

この取り組みは、学長をはじめ本学の執行部が産業活動の現場を訪れ、地域を支える産業の実情を把握し理解を深め、社会貢献の取り組みに役立てることを目的として平成19年度から実施している。

今回は刃物メーカーのカイ インダストリーズ（株）及び工作機械メーカーの（株）ナガセインテグレックスを訪問し本学の紹介、工場見学をしたあと、意見交換を行った。

カイ インダストリーズ（株）ではカミソリ・医療用刃物の生産工場や、刃物の評価・研究施設を見学した。プレス加工，熱処理，研削，表面処理，検査という一連の流れについて説明があり，見学後は，工場の自動化や国際展開時の課題等について活発な意見交換が行われた。

（株）ナガセインテグレックスでは工作機械の生産工場及び実演施設を見学した。同社製品が製造する工作機械は，他に類を見ない程の超精密加工を実現する機械で，見学の過程では徹底した振動コントロール技術等ものづくりへの強いこだわりを垣間見ることができた。

訪問した2社は，これまでも共同研究等で岐阜大学と連携しており，また岐阜大学の卒業生も多数在籍しているが，今回の訪問・意見交換を通して，大学の研究力や人材育成への期待を実感した。

今回のように大学幹部自ら地元企業へ訪問し，現状を把握することは非常に重要であり，産学連携や人材育成により今後も地域へ貢献できるよう取り組んでいく予定である。



カイ インダストリーズ（株）
での岐阜大学紹介



（株）ナガセインテグレック
スでの施設見学の様子

「エコ活動啓発ポスター」の表彰式を実施

12月5日（水）、学長室にて、「エコ活動啓発ポスター」の表彰式を行った。

本学は、十六銀行と「岐阜大学と十六銀行との環境保全における連携に関する覚書」を締結しており、その連携活動の一環として、環境問題に対する意識の啓発を目的に、「エコ活動啓発ポスター」のデザインを本学教育学部附属小・中学校の児童・生徒に募集した。

ポスターの募集企画は8回目となりますが、今回も多数の応募があり、厳正な審査の結果、金賞3作品、銀賞3作品、銅賞6作品及び審査員特別賞3作品を決定した。

表彰式には、十六銀行の後藤経営管理部部長、永田経営管理部総務グループ課長代理、本学の森脇学長、大藤総務・財務担当理事、須本附属小・中学校校長、熊崎附属小学校副校長、森附属中学校副校長、青木施設環境部部長が出席し、受賞した児童・生徒一人ひとりに森脇学長より表彰状が、十六銀行の後藤部長より副賞が手渡された。また、受賞者に対し、森脇学長からは「学校や家庭、地域で環境活動を広めていってほしい」、後藤部長からは「1つ1つの作品からエコや地域活動に対する熱い思いを感じた。改めて思いやる気持ちを考えさせられた」と言葉がかけられた。これを受け、須本校長は、「この表彰をきっかけにして、引き続き環境問題、地域活動について取り組みを広げていきたい」と述べられた。

受賞作品は、これまで本学の図書館に展示され、地域の方も含め、多くの方にご覧いただいている。12月10日（月）～21日（金）まで十六銀行加納支店のロビーに展示する予定である。

本活動が、環境について考えるきっかけとなり、エコ活動が広がっていくことを期待する。



受賞した児童・生徒との記念撮影

金賞受賞者



中学校部門
澤菜々子さん



小学校高学年部門
熊崎理佐子さん



小学校低学年部門
田中彩結さん

金賞受賞作品



中学校部門
「地球の未来が溶ける前に STOP! 温暖化」



小学校高学年部門
「生ごみ減量」



小学校低学年部門
「ちきゅうがないてるよ!!」

岐阜大学図書館 留学生対象に英語による『英語論文の探し方』講習会

本学図書館では、12月5日（水）にグローバル推進本部の全面的な協力を得て、外国人留学生を対象とした英語による「英語論文の探し方」講習会を開催した。

これまでの留学生向けの講習会は、図書館職員が日本語で説明し、留学生S Aが資料の英訳と通訳を担当するという形態で実施されていたが、本学将来ビジョンの根幹に「国際化」を据えるとともに、ジョイント・ディグリー・コースの開設等、地域に根ざした国際化を展開していることから今回の講習会が実現した。

当日は、講習会の告知期間が短かったにも関わらず、博士課程の留学生をはじめ、21名の参加があった。この講習会は、開催案内をはじめ、資料及び説明からパソコンを使った実習、アンケート、質疑・応答に至るまで全て英語のみで行われた。英語での講習会開催の要望は以前から度々あり、受講者は、真剣かつ積極的な態度で聴講・質問し、講習会終了後も残って疑問点を確認する姿が見られるほど活況であった。

本学図書館では、今回の結果を踏まえ、グローバル推進本部との連携をさらに密にし、留学生向け講習の質的・量的充実を図ることとしている。また、今回、講師及び講師補助を担当した二人の図書館職員は、グローバル推進本部が主催した、「平成29年度：岐阜大学TOEICスコアアッププロジェクト」において、TOEICテスト800点以上を取得した職員であったことから、同プロジェクトの成果が存分に発揮されるとともに図書館職員の自己研鑽の努力が、結実した事例でもあった。



講習会の様子

ISO 14001:2015 版の認証登録を更新

本学は、環境マネジメントシステム（EMS）の国際規格 ISO 14001 の更新審査を 10 月 17 日（水）・18 日（木）に受審し、平成 30 年 12 月 7 日（金）付けで更新した。

審査員からは、EMS が継続的に改善され大学運営の中で定着し、その取り組みが環境対策における成果に向けた役割を担っていると評価いただいた。

今後も、全学で環境マネジメントシステムのさらなる継続的改善に取り組み「環境ユニバーシティ」として、環境パフォーマンスの向上や環境教育・研究の充実を推進していく。



審査登録証と附属書

避難所運営ゲーム（HUG）を開催

本学危機管理委員会は、学生の災害に対する意識の醸成のため、12月12日（水）に、避難所運営ゲーム（HUG）を行った。

初めに、2016年に発生した熊本地震の際に、熊本大学において2週間にわたって避難所運営に当たった職員から、実際の現場の状況をお話いただいた。

その後、本学の課外活動団体の代表者等19名（うち保健管理センター職員2名を含む）及び熊本大学から参加いただいた3名が、3つのグループに分かれ、避難所運営ゲーム（HUG）を行った。今回の避難所運営ゲーム（HUG）は、指定避難場所となっている本学体育館を避難所として想定し、実際の平面図を用いて、避難者の居住スペース、炊き出し場、仮設トイレ、救護室、更衣室等を配置し、進行役の学生が読み上げる、避難所で起こる様々な出来事やトラブルに対して、どのように対処するのかを話し合いながら、対応していった。学生は、実際の災害さながらリアルタイムで発生する事情について、戸惑いながらも判断を行った。

熊本地震では、熊本大学に設置された避難所を学生が中心となって運営し、多くの避難者を受け入れた。今回学んだ避難所の運営ノウハウを、いつ（今日？明日？）起こるかわからない災害に役立てることができるよう、大学全体で、事前の備えが重要であると考え

※HUGは、H（hinanzyo 避難所）、U（unei 運営）、G（game ゲーム）の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味である。



現場の状況を説明する熊本大職員



避難所運営ゲームの様子

「大学における内部質保証力を高める研修会」の開催

本学は、12月17日（月）に大学改革支援・学位授与機構特任教授の土屋俊氏を講師に迎え、「大学における内部質保証力を高める研修会」を開催した。本研修会は、平成31年度機関別認証評価において重点項目となっている内部質保証について、参加者に現状把握を促し課題解決につなげることを目的としたものであり、理事・部局長等を含む教職員44名が参加した。

第一部では、自己点検・評価と比較して、内部質保証においては改善向上に結び付いているかが着目される旨の説明があった。さらに、二巡目の認証評価を通して、多くの大学が教育の内部質保証を実践していることを確認しているが、より高いレベルで実現するためには、体制やシステムを必要に応じてチェックし、見直す必要がある旨の講演があった。

第二部では土屋氏と参加者による活発な意見交換が行われた。研修会后、参加者からは「岐阜大学における内部質保証システムについて考える良い機会となった。」「評価基準のことについて、理解することができた。」などの声があり、認証評価や内部質保証への理解と関心を高めることができた。



土屋俊大学改革支援・学位授与機構特任教授による研修会の様子

平成30年度第9回学長記者会見を実施

本学は、12月19日（水）に、平成30年度第9回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から平成31年4月に開設する「ジョイント・ディグリーによる工学研究科（博士課程）の専攻設置」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行い、次いで鈴木理事（国際・広報担当）・副学長から今回新たに設置したインド工科大学グワハティ校（以下、IITG という）国際連携統合機械工学専攻とマレーシア国民大学（以下、UKM という）国際連携材料科学工学専攻におけるジョイント・ディグリー（以下、JD という）設置の背景と概要について説明した後、IITG との JD 設置のリエゾンとなった久米工学部教授、UKM との JD 設置のリエゾンとなったリム工学部教授からそれぞれの専攻の特徴と意義等を説明した。

各専攻では連携する大学間で開設された単一の共同の教育プログラムを受講し、双方の大学で学び、修了した際には両大学から1枚の学位記が共同で授与される。

IITG との国際連携統合機械工学専攻ではものづくりにおける日本の性格・高品質さとインドの需要に対するスピーディーな精神を融合させ、新しい研究開発を進める。

また、UKM との国際連携材料科学工学専攻では本学の強みである化学・材料分野の基礎研究と UKM の強みである原油やパームオイルなど天然資源対象にした化学研究を連携する。

この国際連携によって高度な専門知識を有し、東海地域と北東インド及びマレーシアにおいてリーダーシップを発揮できる人材を育成することを目指す。

本学は6月に認められた JD を含め、4本の JD プログラムを平成31年4月より開始する。

今後、JD プログラムを基盤として共同研究の活性化、学生、組織の国際化、岐阜・東海地域産業の JD 相手国への進出支援と食品及び関連産業の推進をし、社会貢献を進めていく。



説明する森脇学長



IITG との国際連携統合機械工学専攻を説明する久米教授

岐阜大学主催公開講座「先端を行く連合創薬医療情報研究科
ー難病へのアプローチ最前線ー」を開催

大学院連合創薬医療情報研究科は、平成30年12月14日（金）に本学主催公開講座「先端を行く連合創薬医療情報研究科 ー難病へのアプローチ最前線ー」を開催した。

今年度の公開講座は3部構成で行われ、第1部では「診断・治療アプローチ」をテーマに、本学医学系研究科小児病態学の深尾敏幸先生、岐阜薬科大学創薬化学大講座の平山祐先生、本学大学院連合創薬医療情報研究科の加藤善一郎先生の3名に講演を講師に迎え、全ゲノム解析による難病の診断や鉄剤の摂取による身体への影響、3次元解析を用いた骨髄性筋委縮症の評価法など、先生方それぞれの立場から、難病の診断・治療の現状を詳しく解説いただいた。

また、第2部では「医療情報アプローチ」をテーマに、岐阜薬科大学グローバルレギュラトリーサイエンスの塚本桂先生と本学大学院連合創薬医療情報研究科の一宮尚志先生の2名を講師に迎え、講演いただいた。製薬企業の開発戦略やビックデータから見る薬の安全性など、薬と医療情報の関係性について、現代ならではの視点から解説いただいた。

さらに、第3部では「特別講演：薬剤開発の最前線」として、岐阜薬科大学副学長の原英彰先生に、iPS細胞や幹細胞による再生医療・薬効解析の成果と展望について、製薬企業でのご経験や本学・岐阜薬科大学双方の関わり等も交えながら講演いただいた。

今回の参加人数は143名で、学生はもちろん、県内高校生や近隣の一般市民の方、東京都等遠方の方など、幅広い層にご参加いただき、講演後の質疑応答では、活発に意見が交わされた。また、今回初めて研究成果のポスター展示と、モーションキャプチャによる3次元解析機器のデモンストラーションを実施し、演者の先生方や参加者相互間で活発な意見交換が行われた。

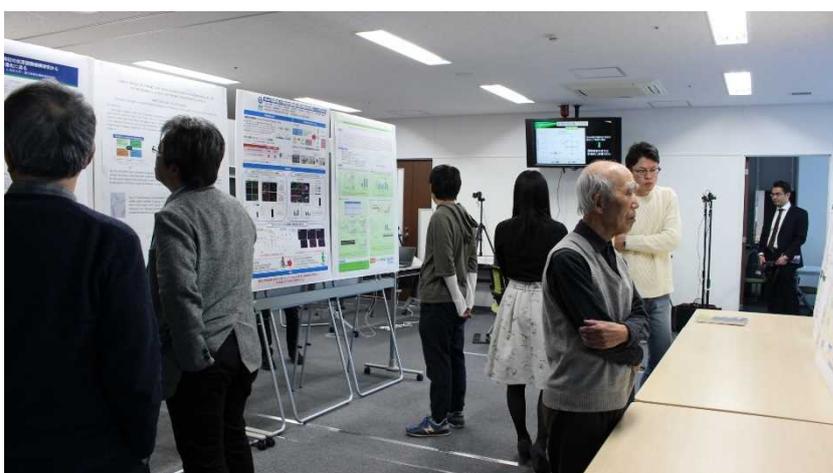
本学の将来ビジョンでは、「社会貢献」を重点的な内容の一つに掲げており、今回の公開講座では、一般市民等多くの方に参加いただけた事はもちろん、高校生等への進路情報提供や本研究科における教育・研究内容を多くの方に触れていただく事ができ、今後の本研究科における取り組みも一層活発になることが期待される。



開会挨拶を行う原英彰岐阜薬科大学副学長



講演を行う加藤善一郎岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科教授



会場の様子

地域科学部国際教養コース学生が学長を訪問

12月26日（水）、地域科学部国際教養コース3年生学生が学長訪問を行った。

この「国際教養コース」は2016年度から運用が始まり、地域と国際社会の双方で活躍できる人材を育成する教育内容を構成している。具体的には、2年次前学期までに多彩な授業科目を履修して幅広い学問的教養を身に付け、2年次後学期から3年次前学期までの1年間、海外の学術交流協定大学への留学を行っている。また、留学先で取得した単位の全部または一部が卒業に必要な単位として認定され、標準の修業年限（4年）での卒業が可能になっている。

今回、学長訪問を行ったのは、国際教養コースの第一期生として、昨夏から留学した3年生学生8名のうち5名である。以下は5名が留学した大学の内訳である。

アーカンソー大学フォートスミス校（アメリカ）・・・・・・1名
シドニー工科大学（オーストラリア）・・・・4名

訪問において、学生は「留学して行動力がついた。」や「他の国から来た留学生と交流が出来て、帰国してからも連絡を取っている。」「留学した国の様々な行事を体験できた」等、留学の感想を語った。また、森脇学長から「後輩にも経験談を話し、留学に行きたい人たちを後押ししてほしい。」と言葉がかけられた。

現在、地域科学部国際教養コースの2年生は11名が9大学に留学中である。



訪問の様子



集合写真

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	学位論文名
博士(医学)	甲第1089号	杉山 健	平成30年12月19日	FGF2-Responsive Genes in human Dental Pulp Cells Assessed using a Rat Spinal Cord Injury Model(脊髄損傷モデルラットを用いたヒト歯髄細胞におけるFGF2応答性遺伝子の検討)
博士(医学)	甲第1090号	SRINONTONG PIYARAT	平成30年12月19日	The circulating immunoglobulins negatively impact on the parasite clearance in the liver of Leishmania donovani-infected mice via dampening ROS activity (循環免疫グロブリンは内蔵型リーシュマニア原虫 Leishmania donovani感染マウスの肝臓において活性酸素種産生誘導を抑制することで宿主原虫排除に対して負の影響を与える)
博士(農学)	甲第703号	張 雲翔	平成30年12月25日	CLTパネル工法における脚部接合部が耐力壁の地震時挙動に及ぼす影響 (Influences of Vertical Resisting Joints on Seismic Behavior of Shear Walls in Cross-laminated Timber Structures)

表彰受賞者

平成 30 年度岐阜大学教育学部附属小学校職員表彰 受賞

受賞者：小笠原 淳

業績名：平成 30 年度岐阜大学教育学部附属小学校職員表彰

受賞日：平成 30 年 12 月 5 日

平成 30 年度岐阜大学教育学部附属中学校職員表彰 受賞

受賞者：山本 真司

業績名：平成 30 年度岐阜大学教育学部附属中学校職員表彰

受賞日：平成 30 年 12 月 5 日

公益社団法人土木学会 論文賞 受賞

受賞者：能島 暢呂 工学部教授

演題：わが国の全地震活動モデルを用いた震度曝露人口による地震リスク評価

受賞日：平成 30 年 12 月 20 日

一般社団法人日本数学会 函数方程式論分科会 第 10 回福原賞 受賞

受賞者：澤田 宙広 工学部准教授

演題：ナビエ・ストークス方程式に関する非有界領域および非減衰流れの解析

受賞日：平成 30 年 12 月 22 日

外国人研究者の受け入れ（12月）

受入部局	氏名 (国・地域名)	所属・職名	期間	研究題目
教育学部	林 雅智 (台湾)	台北市立大学教育行政興評鑑研究所・教育実験興創新コース 助理教授	2018/12/11 ～2019/3/9	日本における学校管理職養成システム構築とカリキュラム開発に関する研究

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成30年12月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	(株)デンソー・(株)チウキョー・日本ユニシス・エクセリューションズ(株)・ユニアデックス(株)
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	(株)岐阜多田精機・(株)デンソー・扶桑工機(株)・日本ユニシス・エクセリューションズ(株)・ユニアデックス(株)
工学部	久武 信太郎	(株)SOKEN/(株)デンソー
工学部	高野 浩貴	福井大学/関西電力(株)
工学部	吉田 弘樹	(株)NIPPO
工学部	吉田 佳典	東レ(株)
工学部	神原 信志	澤藤電機(株)
応用生物科学部	西津 貴久	味の素(株)/京都大学/福山大学
応用生物科学部	勝野 那嘉子	岐阜県中山間農業研究所/有限会社飛驒山椒
工学部	速水 悟	岐阜県情報技術研究所
工学部	松村 雄一	(株)本田技術研究所
応用生物科学部	西津 貴久	(株)LIXIL
工学部	武野 明義	アラフカゴム工業(株)
流域圏科学研究センター	久世 益充	(株)葵エンジニアリング
工学部	王 道洪	シスメット(株)
工学部	國枝 稔	清水建設(株)/(社)日本建設機械施工協会技術総合研究所
工学部	井上 吉弘	コダマ樹脂工業(株)
工学部	中村 誠	日本電信電話(株)
応用生物科学部	森 崇	岩崎工業(株)
応用生物科学部	勝野 那嘉子	(有)飛驒山椒
応用生物科学部	西津 貴久	昭和産業(株)
工学部	古木 辰也	(株)岐阜多田精機
工学部	箱山 智之	ユニプレス(株)
工学部	仲井 朝美	カジレーネ(株)
流域圏科学研究センター	玉川 一郎	川崎重工業(株)
工学部	藤原 裕之	パナソニック(株)
工学部	久武 信太郎	ソフトバンク(株)/国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)
工学部	屋代 如月	(株)ファインテック

応用生物科学部	稲垣 瑞穂	(株)明治
---------	-------	-------

○受託研究

(平成30年12月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
応用生物科学部	森 崇	東京医科歯科大学
医学部附属病院	兼村 信宏	京都大学
医学部附属病院	浅田 隆太	京都大学
工学部	八嶋 厚	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 (株)
連合農学研究科	中野 浩平	スマートフードチェーンコンソーシアム (代 表：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総 合研究機構)
応用生物科学部	寺本 好邦	国立研究開発法人科学技術振興機構

メディア掲載一覧

○新聞

(平成30年12月分)

掲載日	新聞名	内容
12月1日	読売	何の動物？ 毛ですぐ識別 骨・血痕でも 県警職員初の特許出願 ～連合農学研究科 松村秀一 教授, 博士課程 森 幾啓さん～
12月1日	中日	柳ヶ瀬 X マス楽しもう 岐阜大生ら多彩な催し ～地域科学部 能 沢未羽さん, 伊藤朱里さん～
12月1日	読売	NIE 教育に新聞を：新聞で「深い学び」 県セミナーで報告 ～教 育学部附属中学校～
12月1日	岐阜	新聞, 主体的学習の一助 NIE セミナー, 9校が実践例発表 活用 の工夫や課題も議論 ～教育学部附属中学校～
12月1日	読売	岐阜大学吹奏楽団ウィンターヒューマニティコンサート ～岐阜大 学吹奏楽団～
12月1日	日本経済	この NEWS：高等教育のあり方 中教審答申 18歳人口減, 大学 統合促す
12月3日	岐阜	美濃市駅伝 一般男子1位 美濃ジュニア倶楽部 A ～岐阜大学職 員 佐藤孝英さん～
12月3日	岐阜	カルチャーアカデミー 駅前プラザ教室：コミュニケーションカレ ッジ
12月3日	中日	動物識別の新手法開発 特許出願 県警科捜研・森さんと岐阜大共 同 ～連合農学研究科 松村秀一 教授, 博士課程 森 幾啓さん ～
12月4日	中日	岐阜大生と菓子店開発 特産柿で土産用スイーツ ～応用生物科学 部「地域ブランドと地域振興」履修生ら～
12月4日	岐阜	◎研究室から大学はいま：膵臓がん治療は新時代へ ～医学系研究 科寄附講座低侵襲・がん集中的治療学講座 特任講師 松井 聡 特任講師～
12月5日	岐阜	講演：放送大学岐阜学習センター公開講演会 「岐阜県の特別支援 教育を世界に発信する」 ～教育学部 池谷尚剛 教授～
12月6日	日本経済	大学発ベンチャー後押し 名大, 2号ファンド 20億円規模 創 業前後を手厚く ベンチャー資金調達 愛知, 2位に
12月6日	中日	エコ活動啓発を描く 岐阜大付 児童生徒ポスター授賞式 ～森脇 久隆 学長～
12月6日	岐阜	ポスターでエコ啓発 岐阜大・十六銀コンクール 入賞児童ら表彰 ～森脇久隆 学長～
12月6日	中日	講座・教室：がん相談支援センター公開講座 ～がん相談支援セン

		ター～
12月7日	岐阜	ドビュッシー没後100年記念 12日, 岐阜市でコンサート ～教育学部音楽教育講座 仲田久美子 准教授, 松井裕樹 非常勤講師, 近野賢一 助教～
12月7日	朝日	自動運転者の実験 郡上の中山間地で 国交省, 年度内に実施 ～地域実験協議会会長 工学部 高木朗義 教授～
12月7日	岐阜	岐阜大生と菓子店が共同開発 柿スイーツ 味いかが ケーキやどら焼き, 試食会 ～応用生物科学部「地域ブランドと地域振興」履修生ら～
12月8日	岐阜	◎サタデーコラム:生活習慣病は文明病? ～大森正英 講師～
12月8日	毎日	地域科学部に廃止案 教員ら反発 「経営」新設に代わり
12月8日	毎日	県警科捜研と岐阜大共同開発 塩基配列で動物識別 捜査活用へ実用化目指す ～連合農学研究科 松村秀一 教授, 博士課程 森幾啓さん～
12月8日	中日	地域科学部 募集停止も 岐阜大, 学部再編で検討
12月9日	岐阜	特別支援教育テーマに講演 池谷岐阜大教授 ～教育学部 池谷尚剛 教授～
12月9日	岐阜	科学技術研究に助成 小川財団, 28件へ贈呈
12月11日	岐阜	◎研究室から大学はいま:最善の心臓手術を目指す ～医学部附属病院第1内科 石田成吏洋 講師～
12月12日	中日	落研の青春 学生選手権「てんしき杯」:しゅわしゅわ, こつこつ ほどよい「大人の部活動」
12月12日	中日	中耳加圧療法に保険適用 岐阜大病院・青木さん治験 ～医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療科 青木光弘科長～
12月12日	毎日	岐阜大設置検討「経営学部」 最短で21年春開設
12月12日	朝日	岐大, 経営系学部の計画 地域科学部を改組 学生が反対の署名
12月13日	岐阜	十二単スバラシイ 留学生らが着付け体験 ～日本語・日本文化教育センター 土谷桃子 教授～
12月13日	中日	十二単に留学生興味津々 岐阜大で着付けの特別授業
12月13日	岐阜	没後100年, ドビュッシー優美に 岐阜市でコンサート ～教育学部音楽教育講座 仲田久美子 准教授, 松井裕樹 非常勤講師, 近野賢一 助教～
12月14日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議④:住宅事情 持ち家率75%, 同居多い ～教育学部 大藪千穂 教授～
12月14日	岐阜	雄大な山 表情捉える 日本山岳会岐阜支部 岐阜市で写真展 ～

		今西錦司 元岐阜大学長～
12月15日	朝日	豚コレラ拡大で有識者会議設置 発生経緯など分析 ～連合獣医学研究科 浅井鉄夫 教授～
12月15日	朝日	動物種 新たな鑑定法 遺伝子配列の長さで早期識別 ～連合農学研究科 松村秀一 教授, 博士課程 森 幾啓さん～
12月16日	中日	豪雨被災 教訓生かす 関・上之保 住民ワークショップ ～地域減災研究センター 村岡治道 特任准教授～
12月16日	読売	鉄粒 形成の仕組み解明 岐阜大准教授ら 火星知る手がかりに ～教育学部 勝田長貴 准教授～
12月16日	岐阜	豪雨教訓に住民勉強会 関市上之保 避難手順を確認 ～地域減災研究センター 村岡治道 特任准教授～
12月17日	朝日	特別支援教育でタイと国際交流 岐阜大教授, 講演で紹介 ～教育学部 池谷尚剛 教授～
12月17日	岐阜	難病診断の技術を紹介 岐阜大で公開講座, 装置の実績も ～連合創薬医療情報研究科～
12月18日	朝日	ドクターカーのどら焼き 岐阜大病院で販売 ～医学部附属病院～
12月18日	中日	柳ヶ瀬商店街は居心地良い場所 岐阜大と名古屋大の学生が研究報告
12月18日	岐阜	◎研究室から大学はいま: エコな燃焼技術開発に力 ～工学部機械工学科 小宮山正治 教授～
12月20日	岐阜	工学分野, 2校と連携 岐阜大 海外大学の共同学位
12月20日	岐阜	岐阜大地域科学部 経営学部にも再編 21年度にも
12月21日	日本経済	名大・岐阜大, 25日に合意 運営法人統合で
12月21日	岐阜	岐阜大と名大 基本合意 法人統合, 年内に調印
12月21日	毎日	名大・岐阜大「統合」合意へ 運営法人 年内に協議会・調印式
12月21日	読売	名大・岐阜大が法人統合 近く基本合意 国立大 初の県境越え
12月21日	中日	名大と岐大 法人統合了承 20年4月めど実現目指す
12月21日	毎日	運営法人統合合意へ 名大と岐阜大 越県, 国立で初
12月21日	読売	岐阜大 地域科学部を再編 経営学部にも改組検討 学内反対の声も
12月22日	朝日	名古屋大・岐阜大 運営法人統合へ 20年度にも
12月23日	岐阜	地域課題解決 アイデア満載 県内大学生ら取り組み報告会 ～ネットワーク大学コンソーシアム岐阜～
12月23日	読売	病院の実力: 肺がん 次々と新薬 最新情報を ～医学部附属病院～
12月23日	朝日	国立大 1法人で複数運営可能に 特色強化に注力狙う 文科省有

		識者会議が了承
12月23日	岐阜	岐阜大と名大, 25日締結式
12月24日	岐阜	分水嶺
12月24日	読売	ひゅーまん岐阜: 言葉通じ故郷探る 岐阜の方言を研究する ~教育学部 山田敏弘 教授~
12月25日	日本経済	名大・岐阜大が法人統合 合意文書締結 新法人の傘下に
12月25日	中日	名大・岐大 法人統合に合意 20年春目標 国立大で初
12月25日	毎日	名大・岐阜大 合意書締結へ 20年度にも 運営一体化 新法人
12月25日	中日	法人統合を語る 岐大 森脇学長 地域産業への貢献促進 ~森脇久隆 学長~
12月26日	中日	岐阜大管弦楽団 力強い演奏披露 瑞穂で定演 ~岐阜大管弦楽団~
12月26日	中日	岐阜大大学長が会見 研究の発展に期待 法人統合合意で ~森脇久隆 学長~
12月26日	毎日	なるほドリ: 国立大, なぜ統合するの? 業務効率化 少子社会生き残り策
12月26日	毎日	名大・岐阜大 運営統合 新法人 20年春目指し合意書 「強みの分野生かす」
12月26日	中日	国立大 生き残りへ先陣 少子化と予算減・研究競争激化 名大・岐大 法人統合
12月26日	朝日	運営法人の統合 名大・岐大が合意 2020年春 新法人設立目指す
12月26日	読売	名大・岐阜大 統合合意 20年4月にも 国際化, 地域創生で分担
12月26日	岐阜	岐阜大と名大 法人統合 岐阜大問われる存在感 競争力向上へビジョン必要
12月26日	日本経済	法人統合で産学連携強化 名大・岐阜大が合意書締結
12月27日	岐阜	下呂の9歳, 防災士に 杉山さん資格試験合格, 全国最年少 「子ども目線で活動を手助け」 ~清流の国ぎふ防災リーダー育成講座~
12月27日	中日	患者らに癒やしの音楽 岐阜大病院で管弦楽団コンサート ~岐阜大管弦楽団~
12月27日	岐阜	中国・香港・ベトナム 県視察団座談会 友好交流 新時代へ ~森脇久隆 学長~
12月28日	岐阜	岐阜大と名大, 法人統合締結 文科相に両学長報告 ~森脇久隆 学長~
12月28日	日本経済	法人統合合意 文科相に報告 名大・岐阜大大学長 ~森脇久隆 学

		長～
12月28日	中日	法人統合の合意 文科相に報告 岐阜大・名大の両学長 ～森脇久隆 学長～
12月28日	岐阜	北方町の小中一貫義務教育 意見書 内容を議論 ～学校構想検討委員会・座長 教職大学院 石川英志 教授～
12月28日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議④:JAバンク 新鮮農産物を安く直売 ～教育学部 大藪千穂 教授～
12月28日	岐阜	◎みんなで防災・減災:現場を想定し災害医療教育 ～医学部附属病院高次救命治療センター 土井智章 集中治療部門長～
12月28日	読売	学長と法人の長 分離可能に 「1法人複数大学制」2020年度にも
12月30日	中日	「がんゲノム医療」開始へ 岐阜大病院 来月から 患者の遺伝子変異から薬や治療法選択 ～医学部附属病院～
12月30日	中日	宇宙の最新研究 高校生らが学ぶ

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成30年12月分)

放送日	番組名	内容
12月3日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 「防災・減災センターの今後の取り組みについて」 清流の国ぎふ防災・減災センター 杉戸真太 センター長
12月7日	CBC テレビ 16:50～ 「イッポウ」	岐阜県からオリンピック選手を輩出するため実施されている「清流の国ジュニアアスリート育成プロジェクト」について紹介します 教育学部 春日晃章 教授
11月26日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』「防災・減災センターのこれまでの取り組みについて」 清流の国ぎふ防災・減災センター 杉戸真太 センター長

◇第206回 図書館委員会

12月4日(火)

(審議事項)

1. 図書館で継続的に購入している資料の購入中止について
2. データベース経費負担の見直しについて
3. 電子ジャーナル等部局負担額の差し引き方法の変更について
4. 古本募金等による寄附金の受入決定について
5. 平成31年度開館日程(案)について

◇第7回 入学試験専門委員会

12月5日(水)

(審議事項)

1. 平成31年度工学部ツイニング・プログラム(TP)入学者選抜試験学生募集要項(案)について
2. 大学院連合農学研究科入学者選抜基準の一部改正(案)について
3. 大学院工学研究科ジョイント・ディグリー設置に伴う一部改正等(案)について
4. 【継続審議】個人成績の開示について

◇第641回 役員会

12月6日(木)

(議事)

1. 教育職員雇用申請について

◇第642回 役員会

12月13日(木)

(議事)

1. 共同研究講座の設置について
2. 懲戒処分事案について

◇第9回 部局長・部長会

12月13日(木)

(協議事項)

なし

◇第9回 教学委員会

12月18日(火)

(審議事項)

1. 平成30年度学位記授与式における謝辞・送辞者及び平成31年度入学式の宣誓者の選出について
2. 学生の学業成績に関する表彰実施要項の一部改正について
3. 平成30年度後期授業料免除に係る留年₂₆・修業年限超過者の取扱いについて

4. 平成30年度秋季入学料及び後期授業料免除等について
5. 平成31年度岐阜大学授業料及び入学料免除等に関する選考基準実施要領について
6. 授業時間割（開始終了時刻）の一部変更について

◇第643回 役員会

12月20日（木）

（議事）

1. 平成30年度分及び平成31年度分教員人事について
2. 特任教員雇用申請について

◇第176回 教育研究評議会

12月20日（木）

（審議事項）

1. 学生の不祥事について
2. 教育職員の任期を定める規程の一部改正について
3. 東海国立大学機構（仮称）について

◇第644回 役員会

12月20日（木）

（議事）

1. 東海国立大学機構（仮称）について
2. 教育職員雇用申請について
3. クロスアポイントメントの実施について
4. 教育職員の任期を定める規程の一部改正について

◇第89回 経営協議会（メール開催）

12月25日（火）

（議事）

1. 中期目標・計画の変更について
2. 職員給与規則等の一部改正について

◇第645回 役員会

12月27日（木）

（議事）

1. 懲戒処分事案について

主要日誌

月 日	行 事 名
12/ 1	公開講座「食べられる生命」
2	清流の国ぎふ防災リーダー育成講座
2	岐阜大学公開講座「中高校生のための美術教室「手のデッサン」」
2	岐阜大学公開講座「中高校生のための美術教室「自画像鉛筆デッサン」」
3	海外研修
3	国際ワークショップ（連農）
3	教養教育推進部門会議
4	ウインタースクール
4	共同獣医学研究科入試
4	未来セミナー
4	企画運営会議
4	平成30年度研修報告会
4	第206回図書館委員会
5	献血
5	入学試験専門委員会
6	役員懇談会
6	男女共同参画推進室会議
6	病院運営会議
7	第4回金融機関との連絡会
7	地域協学センター運営委員会
8	岐阜大学公開講座「視る・考える・創る「形と数」の教室」
9	岐阜大学公開講座「大学生と学ぶ、恐竜学入門」
9	公開講座「家庭菜園の基礎理論と実際」
10	JST訪問調査
12	第9回 English Circle of Friends
12	十二単着装体験
12	教学委員会
12	学科長等会議
12	インダストリー部会（連農）
13	役員懇談会
13	部局長・部長会
14	DNC各学部責任者への説明会
14	名古屋大学技術職員研修（計測・制御コース）
14	代議委員会
14	公開講座「難病へのアプローチ最前線」
14	東海・北陸地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会連絡会
14	岐阜大学関連病院長会議
17	病院科長会議

- | | |
|----|----------------------|
| 17 | 保育園運営協議会 |
| 17 | コーディネーター会議 |
| 17 | げんさい楽座 |
| 18 | 国立大学法人等若手職員勉強会 |
| 18 | 研究科委員会 |
| 18 | ランチタイムセミナー |
| 18 | 代議員会（連農） |
| 18 | 教学委員会 |
| 18 | （臨時）研究科委員会（連農） |
| 19 | 留学報告会 |
| 20 | 役員懇談会 |
| 20 | 教育研究評議会 |
| 20 | 岐阜労働基準監督署行政調査（薬品管理等） |
| 20 | 教育研究評議会 |
| 20 | 病院運営会議 |
| 21 | 未来セミナー |
| 21 | 教員会議 |
| 25 | 企画運営委員会 |
| 25 | 医局長等合同会議 |
| 26 | 教授会 |
| 26 | 教養教育推進部門FD |
| 26 | 経営企画会議 |